

## ナミビア大学オゴンゴ米収穫祭への出席 (令和6年6月11日)

2024/6/11

令和6年6月11日、山田書記官は、ナミビア大学オゴンゴキャンパスで行われたオゴンゴ米の収穫祭に出席しました。同収穫祭には、イーピング国民議会議員、マテング・ナミビア大学副学長、メルテンス・デブマリン社社長らが出席し、ナミビアに対する日本政府の長年にわたる農業及び教育分野への支援や同支援を通じたナミビアの食糧の安全保障への日本の貢献について感謝の意が述べられました。オゴンゴ米栽培に対するナミビア国民の関心は非常に高く、オゴンゴ米を生産している地元農家だけでなく、国内各地からの出席者も多数ありました。また、今年は地元の中高生が農業実習の一環で栽培したオゴンゴ米が収穫されたこともあり、大学と地域住民の連携による収穫祭となりました。

ナミビア大学に対する日本の稲作協力は2001年にナミビア大学から名古屋大学への協力依頼があったことに始まります。今日まで20年以上に渡って支援が続いており、現在も近畿大学や福島大学による稲作指導や学術研究が継続されています。日本大使館が毎年この収穫祭に招待されていることは、日本による支援がナミビア大学の稲作を含むナミビアの食の安全保障に貢献していることに対するナミビア大学およびナミビア国民からの感謝の証とすることができます。



西牧大使のスピーチを代読する  
山田書記官



(左から) マテング副学長、メルテンス社長、イーピング議員、アワラ教授

